

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎学力の定着
- 家庭と連携した家庭学習の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる授業規律や生活習慣の確立
 - (1) チャイム始業、チャイム終業を徹底する。
 - (2) 全校共通の大牧小スタンダード（学習のきまり等）を策定し、全教員が実施する。
 - (3) 学校キャッチフレーズ 「あいうえ大牧小」の定着を目指す。
 - (4) 児童の考えを深める算数プリントを作成し、朝の時間（大牧タイム）に取り組ませる。
- 2 基礎学力の定着を図るための授業づくり
 - (1) 各教科における「基礎的・基本的な知識・技能」を明確にする。
 - (2) ブロック学年で研究授業を実施する。
- 3 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用
 - (1) さいたま市学習状況調査の結果からみられる各教科の成果と課題を把握する。
 - (2) 質問紙調査の生活習慣に関する回答状況の分析を行う。
 - (3) 全国学力・学習状況調査の結果において、顕著な無回答率の減少を図るため、授業の中で自分の考えを書くように粘り強く指導する。
- 4 家庭・地域と連携した学習環境の整備
 - (1) 学習内容等を学年便り等でお知らせし家庭学習の協力をお願いする。
 - (2) 地域の人材を活用した授業やチャレンジスクールのさらなる充実を図る。

＜本年度の振り返り＞

成果

- チャイム始業、チャイム終業を徹底したことで、児童は授業に集中することができた。
- 朝の時間（大牧タイム）を活用することで児童の思考力を高めることができた。
- ブロック学年で研究授業をすることで教師の授業力が向上し、児童の関心・意欲が高まった。

課題

- 学力・学習状況調査の結果から各設問で無回答の児童が若干いるため、授業の中で感想等途中まででもノートに記入させる工夫が必要である。
- 学校評価の結果から、「ノーテレビ・ノーゲームデー」「食育の日」を含めすすくのびのび生活習慣向上キャンペーンの啓発について、学年便り等で呼び掛け、家庭での過ごし方や家庭学習の協力を得る必要がある。